



翠風

香岐市立霞翠小学校
学校便り (みどりのかぜ)
平成 28 年 10 月 25 日
No. 14 文責：豊島

学校教育目標：夢やあこがれを抱き、志の実現に向けて努力する霞翠っ子の育成

元気一杯 声を出した 踊った 勝本港まつり

吹く風が少し肌に冷たく感じるようになりました。24節季の一つ霜降（露が冷気によって、霜となり始める頃）を過ぎました。これから、だんだんと寒くなっていくのでしょうか。

15日（土）に、伝統行事の勝本港まつりが開催され、本校も街頭パレードに参加させていただきました。街頭のみなさんの応援に力をもらい、**声を限りに、身体いっぱい**に、低学年は「きよしのズンドコ節」を、中・高学年は「ソーラン節」を踊りました。土曜日でしたので、**保護者の方の応援も至る所**にありました。初めて参加する1年生は、さすがに疲れ気味でしたが、**終わった後の爽快感**は何とも言えないものがありました。

また、パレード中、**たくさんのお祝い**をいただきました。法被の補充、先導車の飾り品、生活科の道具、餅つきの道具、花や野菜の苗等、**子どもたちの体験につながるものに活用**させていただきます。ありがとうございました。



3～6年生…ソーラン節



1・2年生…きよしのズンドコ節

自然の力の利用 環境学習第2弾

高学年は、市地球温暖化防止対策協議会の方々の御指導により、**環境学習**を行っています。今回は、「地球温暖化の原因が二酸化炭素であること」「二酸化炭素は物を燃やしたときに発生すること」を学び、普段は、**燃えるごみとして出している生ゴミの堆肥化**の実験を行いました。

子どもたちは、家庭で出た野菜くずなどの残さを持ち寄り、段ボールコンポストを利用して、肥料作りを体験しました。一度にはできませんので、これから少しずつ残さいを加えていきます。また、自然エネルギーについて学習した後、風や光など自然の力を動力に変えて動くおもちゃを実際に動かして、自然の力がエネルギーに変えられることを体験しました。**実際に見て、さわって、身体で感じて学習したことは、ずっと記憶に残ること**でしょう。



野菜くずでの堆肥作り

強くなれた 優しくなれた ごみゲッツ

本校の一大イベント、**ごみゲッツ**を21日（金）に行いました。朝から小雨混じりの天候で、果たして完歩できるのだろうかと心配しましたが、9時にスタートし、午後4時前には、全てのチームがゴールしました。グループ別に分かれ、壱岐の島の北半分の道路を、ごみを拾いながら、歩きます。出発式で、子どもたちに「**長い道のりを、ゴミを拾いながら歩くことで強くなろう。**」「**疲れてきつそうな友だちを見つけたら、声を掛け合い優しくなろう。**」と話しました。

途中、天が原や少弐公園では、身体が吹き飛ばされそうな突風に見舞われました。午後からは、冷たい雨に体温を奪われました。それでも、**仲間同士励まし合い、強力な保護者スタッフ（外部からバレーの指導者の方もスタッフとして参加されました。）**に後押しされて、**全員がゴールにたどり着きました。**1年生も17kmの道のりを歩き通しました。誰もが「**強くなれた。**」「**優しくなれた。**」を実感できるゴールとなりました。

ゴミの量は、燃えるごみ23袋、空き缶類12袋、その他1袋

（去年は、燃えるごみ40袋、空き缶類21袋、その他7袋）と**かなり減っていました。**



ごみゲッツ委員の活躍



1年生のスタート



天が原 風との戦い



ごみ拾い



感動のゴール



みんなで集めたごみ

校長室の窓から ……【ごみゲッツを通して考えたこと】

今回、ごみは減ったといえ、依然として相当量が捨てられています。常識では考えられない紙おむつもありました。数として多いのが、空き缶と煙草の吸い殻です。きっと、歩きながら、或いは車窓から、投げ捨てられているのでしょう。ひどいときには、火の点いたままの煙草を車窓から投げ捨てるドライバーもいます。（今年度も2回遭遇しました。）このような人は、**きっと、いけないことは知りつつ、正しい方法で捨てるのが面倒くさい、小さいからこれぐらいならよいだろうという心理が働いているのかも知れません。**（あくまでも想像です。）

環境美化については、まず、**気づいた者から実践し、それを広げていくことが大切だ**と思います。1年に一度ですが、「**大人の不始末を子どもが始末する。**」ことを、私たちは大人として恥じるとともに**まずは、自分から始めてみたい**と思います。それとともに、**自分が気づかないことで、人に迷惑をかけていることもしっかりとふり返りながら、行動をおこしていきたい**と思います。